

健診検査センターニュース

No.548 号

運営委員会より

1月21日（木）平成 27 年度第 10 回の運営委員会を開催いたしました。

1. 特定健診 12 月の実施件数は、下記のとおりでした。

| | 12 月受診数（前年比） | 累 計（前年比） | 函館市国保受診率 12 月現在 17.15% / 目 標 30.0% |
|-------|-----------------------|------------------------|---------------------------------------|
| 函館市国保 | 842 人（△104 人 89.0%） | 9,335 人（ 8 人 100.1%） | |
| 後期高齢者 | 327 人（ 23 人 107.6%） | 4,538 人（400 人 109.7%） | |
| その他 | 181 人（ 13 人 107.7%） | 1,862 人（ 93 人 105.3%） | |
| 合 計 | 1,350 人（△ 68 人 95.2%） | 15,735 人（501 人 103.3%） | |

実施機関：97 / 登録機関 105

○ 12 月の受診者数は、1,350 人と前年に比べ 68 人の減少となりました。

2. 27 年 12 月の健診検査事業収入は、下記のとおりでした。

| | 12 月（前年同月比） | 27 年度累計（前年比） |
|--------|-------------|--------------|
| 一般検査収入 | 106.2 % | 103.7 % |
| 健診収入 | 105.3 % | 104.7 % |
| 合 計 | 105.8 % | 104.1 % |

3. 函館市医師会員・家族並びに従業員の定期健康診断（一期目）は、ご利用医療機関 63 件、受診者数 412 名との報告がありました。

二期目の予約受付は、1 月 25 日（月）～29 日（金）となっております。一期目に受診出来なかった方は、是非この機会をご利用ください。

4. 平成 26 年度「健康診断事業報告書」（案）について協議され、3 月中に配布することになりました。お届けの際にはご高覧頂きますようお願い申し上げます。

《 ちょっと一言 》

医師会健診検査センター運営委員広報担当の小葉松です。今回は、予防接種について最近経験した話です。

定期接種になっているにもかかわらず国が接種を推奨せずという極めて不思議な状況の子宮頸癌予防ワクチン（HPV ワクチン）ですが、その接種後に不調の生徒がいるということで、先日、檜山の某高校から教職員向けの講演に呼ばれました。準備として HPV ワクチンをめぐる行政と世間の動きを一通りチェックしました。厚労省はワクチン後の症状は「心因性」としながら救済体制を確立。被害者会やマスコミの多くは「とんでもないワクチンで少女の人生が狂った」という訴えで、一部の医師が HPV ワクチン後に起きる HANS という新しい病気を主張しています。厚労省の統計では疑い事例も含めた副反応の発症頻度は 0.08% です。当院では接種希望者は激減したものの、接種そのものは継続していますが、くだんの高校では教職員の多くが「そんな危ないワクチンはもう誰も接種していない」と勝手に思っていたようで、まず現状から説明する必要がありました。マスメディアの報道を見ての一般の方の理解は「HPV ワクチンというとんでもないものを国が許可したせいで副反応で苦しむ少女たちがたくさん出た」になります。しかしワクチン出現以前から同様の症状を呈する子どもたちはいた、という医師のコメントや、自分はワクチンはしていないが副反応と同様の症状を経験したという患者の話を加味すると、副反応と言われている症状は「紛れ込み」の可能性が高い、と考えるのが妥当かと思います。

で、今回の論点は何かということ、マスコミの報道姿勢があまりにも稚拙だということです。多くの人に絶大な影響力を持っているのに、報道内容の検証は極めてお粗末。これは医療ニュースに限らず、政治でも経済でもこりゃあひどいという報道は日常茶飯事。その代表例が「国の借金問題」です（詳しくは次回）。だから「マスゴミ」って言われるんですよね。

（文責 小葉松洋子）

公益社団法人函館市医師会 函館市医師会健診検査センター
TEL 0138-57-6571 ・ FAX 0138-57-6580
E-mail : info@hma-labo.jp